

Special Feature

2021年は“vax” 英語の流行語大賞

# Word of the Year

に見る **世界情勢**

日本では毎年12月の初めに、その年に最も話題になった言葉が「新語・流行語大賞」として発表されていますね。実は英語圏でも年に1回、“Word of the Year”として、その年を象徴する言葉が各団体によって選ばれています。なかでも注目が集まるのは、「OED」の略称で知られる『オックスフォード英語辞典』を刊行する、オックスフォード大学出版局 (Oxford University Press) による発表です。

今回の特集では、同社が2012年から今までに発表してきた英語の流行語について、それぞれの意味合いや選定理由、日常会話での使い方をご紹介します。その言葉が話題となるに至った社会的背景や重大ニュースについても確認していきます。2022年も残りわずか。今年の11月末に発表される2022年の Word of the Year も予想してみましょう！

執筆：小田康之 (pp. 48-57)

編集：EE編集部

# What Is a “Word of the Year”?

## 実は日本だけじゃない！ 世界の「流行語大賞」

毎年、世界各国のさまざまな団体が、1年間を振り返り、その国や世界を最も象徴する「今年の単語」を選定しています。その年の思潮や雰囲気うまく捉えているものや、その年に特有の関心事を言い表す単語などが選ばれることから、まさしく日本の「流行語大賞」のような存在です。英

語圏では Word of the Year と呼ばれることが多いようです。

英語学習者にとって、Word of the Year は、最新の英語表現や時事英語が学べる点で、非常に優れた学習素材です。近年、英検や大学入試などの試験では、時事問題に関わる問題の出題率が増加しています。



Word of the Year を選定する理由となった世界の社会問題や流行を学ぶことは、試験対策にもつながります。

## 選定基準は？

Word of the Year の選定基準は、各団体ごとに異なります。その単語がウェブ上で検索された回数、有識者による選考、一般ユーザーによる投票など、団体によって、さまざまな基準が採用されています。今回ご紹介するのは、伝統あるイギリスの出版社、オックスフォード大学出版局 (Oxford University Press) の発表する Word of the Year です。こちらは、『オックスフォード英語辞典』の編集者らが「コーパス」を分析し、「その年の気風を反映し、後世に残る文化的価値を持つ」と判断した重要な言葉を選出しています。コーパ



スとは、言語研究を目的に、新聞、雑誌、映画やテレビといったメディアで実際に使われた言葉の用例を集めたデータベースのことです。2020年か

らは、Oxford Languages という名の辞書専門家チームがデータ分析を行っており、レポートとともに Word of the Year を発表しています。